

平成26年度地域けん引型作業システム改善実証調査事業

# 第1回検討会



西間林業  
Nishima Forestry by owner



# 1. 先進的タワーヤードによる生産性改善調査

## ① 架線系集材システムの必要性

- 急傾斜地では路網整備に限界
- 合板、バイオマスを視野に全木利用

大径材への  
対応

## ② 課題

- 架設撤去、荷掛荷外<sup>ウ</sup>に手間
- 技術者の高齢化、不足

## ③ 解決策

- 先進的タワーヤードで生産性向上に挑戦



# 1. 先進的タワーヤーダによる生産性改善調査

【現状】 (集材)

タワーヤーダ

荷掛1人

荷外・操作1人

⇒ (造材)

ハーベスタ

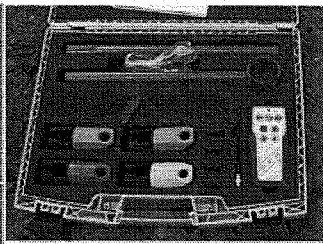
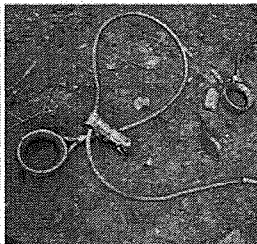
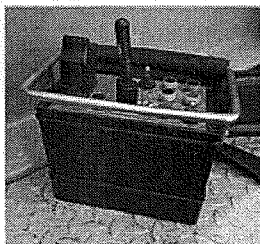
操作1人

【改良】 先進的タワーヤーダ

荷掛1人

ハーベスタ

荷外・操作1人

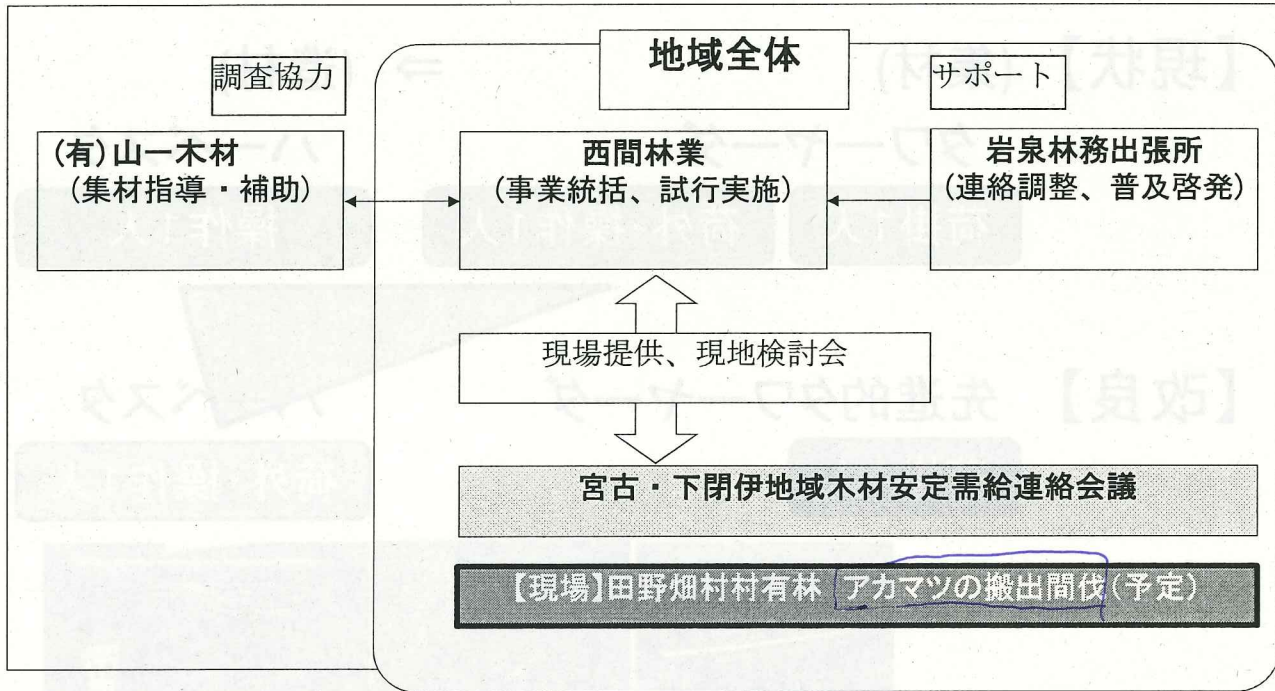


# 1. 先進的タワーヤードによる生産性改善調査

## ④期待される効果

- 荷掛荷外に係る作業工程の改善
- 労働強度の軽減等による安全性の改善
- 少人数作業システムの実現
- 架線集材の普及と技術の継承

## 2. 調査の実施体制



# 3. 調査スケジュール

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会の開催	10/10 宮古		12/17 田野畑	第2回検討会 目的: 先進的タワーヤード生産システムの確認 日時: 12/17(水)予定 場所: 田野畑村		
先進地域調査	10/23 高知					
本調査実施		作業道改良 伐倒 集材 造材 運材				
成果報告会						3/10 盛岡